

令和2年度 第2回 砂川市総合戦略推進委員会

○委員

団体名	役職	氏名	備考
砂川商工会議所	会 頭	其田 勝則	
砂川市町内会連合会	副会長	岡本 昌昭	
新砂川農業協同組合	組合長	佐々木 孝一	
砂川観光協会	会 長	石家 裕二	
砂川金融協会	北洋銀行砂川支店 支店長	北市 裕之	欠席
砂川建設協会	会 長	三土 壽廣	
砂川市校長会	会 長（砂川中学校校長）	奈良 浩幸	
砂川青年会議所	理事長	久保 敬介	
砂川地区連合会	会 長	竹内 伸子	欠席

○市役所

総務部長	熊 崎 一 弘
市民部長	峯 田 和 興
保健福祉部長	中 村 一 久
経済部長	福 士 勇 治
建設部長	近 藤 恭 史
教育次長	河 原 希 之
市立病院事務局長	朝 日 紀 博

○事務局

総務部政策調整課長	井 上 守
総務部政策調整副審議監	玉 川 晴 久
総務部政策調整課長補佐兼企画調整係長	谷 地 雄 樹

1 開 会

【政策調整課長】

本日は、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。

ただいまより、令和2年度第2回砂川市総合戦略推進委員会を開催します。

私は、事務局の政策調整課長の井上です。よろしくお願いたします。奈良校長先生におかれましては、校長会の方が終わり次第到着するという事ですので、さっそく始めたいと思います。最初に、砂川市まち・ひと・しごと創生本部会議本部長である市長より挨拶を頂戴します。

2 本部長（市長）あいさつ

【善岡市長】

はい、大変皆さんお忙しい中、砂川市総合戦略推進委員会にお集まりを頂きました。誠にありがとうございます。令和2年3月30日に令和元年度第1回の砂川市総合戦略推進委員会を開催し、第1期の総合戦略の検証を行ったところでございます。事業ごとでは、基本目標の達成度で62.5%が完全に達成したA評価である他、施策・事業のKPI達成度についても57.4%がA評価、達成度80%以上を含めると61.1%が達成しており、概ね良好な実績になっているものの、人口減少に歯止めをかけるまでには至っていないところであります。

その後、11月26日に令和2年度第1回砂川市総合戦略推進委員会を開催し、第1期を令和2年度末まで延長することについて承認をいただいております。第2期総合戦略の骨子についてもご協議頂きました。

また、11月から12月にかけて、市内9団体との意見交換会を開催し、雇用、住宅、子育て支援、観光など幅広くご意見を頂いたところでございます。

それらのご意見等をふまえ、今回、第2期総合戦略案を策定したところでございます。

新たな総合戦略では、第1期を踏まえ、人口減少対策や地域経済の活性化を主な目的としております。そのため、引き続き子育て支援の充実や、創業支援や事業承継、農業後継者の育成などを通じた雇用の創出、良質な住宅ストックの確保といった取り組みを進めるとともに、新たに若者や女性、高齢者など幅広い人材が活躍できる労働環境の整備や、医療・介護従事者の移住促進、結婚新生活の支援など、より多様な取り組みを進めることで、人口減少に歯止めをかけ、地域経済の活性化につなげていきたいと考えているところでございます。

今回、別な資料をお付けしましたが、社会減と自然減、それから移住定住でどのような状況になっているかという資料をお配りしております。参考までに私がずっと申し上げていたのは、いわゆる社会減、転出と転入の差、転勤や高校生が出て行ってしまうものですが、これが大きかったわけでございまして、それからもう一つ自然減は、出生と死亡の差ということでございます。この表を見ると、移住定住補助金制度を作ったのは平成29年からで、この表の移住定住補助金欄をご覧くださいますと、平成29年は38名、平成30年は40名、その後39、38と概ね40名弱の人が転勤等関係なく砂川の空き家等に移ってきているというのがございます。これがいわゆる砂川の転出数を減らす要因

となっております。社会減の欄を見て頂きますと、平成29年は37人減、これは明らかに移住定住対策補助金が効果を表しているところです。30年も54人減ということで、31年から元年、2年に増えているのは、ほくでん奈井江発電所の停止に伴い転出者が多かったというのがございますし、また、砂川警察署の閉鎖による警察官の減も影響していますが、これが落ち着けばある程度、移住定住による空き家対策による転入により、社会減を軽減しているというのが、政策の意図が出ていると理解しております。ただ、自然減については、いろいろな政策をやっておりますが、社会状況による影響も大きいので、市町村レベルでやるには厳しいところがございますが、今後ともこの会議を通して、有効な対策を取っていきたいと考えておりますので、皆様方のお力添えをお願いいたします。以上開催にあたっての挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

【政策調整課長】

ありがとうございました。市長は公務がありますので、ここで退席となります。

—市長退出—

【政策調整課長】

それでは、この後の議事につきまして、其田委員長のお手元で進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、これより私の手元で議事を進めさせていただきたいと思います。今ほど市長からお話がありましたように、第2期の砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略ですが、昨年11月、12月とそれぞれ皆様団体からいろいろな要望を受け取ったことと思います。その辺を反映した中での、第2期の戦略計画が出てきておりますので、皆様が色々な会議で発言したことも確認しながら、政策作りについて議論をお願いしたいと思います。

3 協議事項

(1) 第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

【委員長】

それでは、協議事項(1)第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、事務局から説明をお願いします。

—事務局より説明—

【委員長】

長い説明ではございましたが、事前に資料を配布している関係もございまして、意見をお持ちの委員さんがいらっしゃるかもしれません。今まで発表して頂きました、説明につ

きまして、質疑を受けたいと思いますが、何かお聞きしたいことある方いらっしゃいますか。

【委員】

質問させていただきます。19ページのJR砂川駅設備改善事業だが、その中で砂川駅のバリアフリー化を進めるとありますが、困難なためKPIを設定しないという事ですが、代替案としてどのようなものがあるのでしょうか。東側の方から改札口をつくるという予定があったと思うが、それについての進展はあるのでしょうか。

【建設部長】

JR砂川駅東口開設に向けての取り組みでございますが、昨年8月6日に開設を要望する期成会を立ち上げました。こちらについては市内15団体の参加の協力を頂きまして期成会を設立し、その後昨年9月1日にJR本社に出向きまして東口設置の要望活動をさせて頂いたところでございます。先方からも前向きに検討して頂けるというご回答がありまして、その後担当者レベルで2度ほど協議を進めているところです。昨年末と、今年に入ってから先日JRを訪問しまして、今後の検討の進め方について協議をさせて頂いているところでございます。今後は、新年度に向けて、東口設置に係る基礎資料を作成しながら、協議を進めていきたいと考えております。東口設置にかかる利用効果や、実際の設置プランも作成しまして、進め方や、JR側でも前向きに検討してもらえよう資料を作成し、今年、精力的に検討活動を進めていきたいと考えております。

【委員】

ありがとうございます。

【委員長】

私、期成会の会長なものですから、気になっているところです。ただ、東口の要望を続けているという事が、計画の文言から抜けていてよいのか、というのもありました。砂川駅の東口開設を含めたバリアフリー化というような、「東口」という文言をいれるとまずいということがあるのでしょうか。

【建設部長】

当初の砂川駅のバリアフリー化の取り組みについては、まずはエレベーターを設置して頂くということで話を進めておりましたが、新幹線の札幌駅までの延伸の関係でなかなかエレベーター化に向けた取り組みが難しい、まず札幌延伸が整ってからでないと手が付けられないというお話もあり、そうであれば別案として、早期にバリアフリー化につながる東口の設置も検討願いたいということで、両方のプランを残しつつ、今後検討を進めるとい事でお話をしている関係もあり、ここでの表記はバリアフリー化とさせて頂いたところでもあります。基本的にはなんとか東口の設置を中心に、市としては進めていきたいと考

えております。

【委員長】

東口の設置も含めて、など一言ほしい感じがしますね。それはいろいろ戦略があると思うので、東口の設置の表現ができるのであればあった方がよいと思います。

【委員長】

ほかに、ありませんか。

【委員】

19ページですが、高齢者等の在宅生活の支援の中で、生活支援体制整備事業とありますが、この中で地域事情の把握に努めた町内会・自治会の数とありますが、すでに令和元年度で4団体あるという事ですが、これを15団体にするのは構わないのですが、どの町内会がその4団体になるのか、よろしくお願いします。

【保健福祉部長】

生活支援体制整備事業につきまして、結論から申し上げますと、5年間で15団体という事で、年間3団体程度の協議という事ではありますが、具体的にどの町内会と協議を進めるといようなスケジュールはこれからということでございます。高齢者のニーズ及び地域事情の把握ということで、市内86町内会ございます。それぞれの町内会において、高齢者のニーズや地域ごとの実情というのは異なろうかと思えますし、その地域での特別なニーズや事情を把握して、それを介護予防、在宅生活のサービス支援につなげようと考えている事業でございます。

【委員】

差し支えなければ、令和元年度の4団体と言うのはどこなのでしょう。

【保健福祉部長】

申し訳ありませんが、今手元に資料が無いので、朝日町内会のほか、この部分含めて老健施設のみやかかわとも打ち合わせをしています。この事業については多分2年前からの新たな事業でございまして、モデルとして朝日町内会に対し、どのような高齢者の在宅支援のニーズがあるかということ、また、老健施設とは介護予防の部分について協議したところ。

【委員】

協議された数という事で令和元年度の団体という事になるんですね。それを5年後には15団体に増やしたいということでしょうか。わかりました、ありがとうございます。

【保健福祉部長】

本来は協議した後、必要な在宅サービスをつくっていくというところ、ニーズに応えるところまで行って完結という事ですが、その前段としてまず把握をしようという事業でございます。

【委員長】

ほかございませんか。

【委員】

2点ほど聞きたいことがあります。1つは8ページ、農業に関してですが、スマート農業推進事業という事で、ICTを活用した農業という事で、ビニールハウス自動開閉機というのはどのようなものなのか、これを0棟から100棟にするとありますが、結構大きな数だと思うので、教えて頂ければと思いました。あと、それに関連して、6ページの農業の担い手育成が、第1期6年間で3人だったのが、5年間で4人にあげていますが、ビニールハウスの投資により、もっと増えるのではないかと考えましたので、その辺を聞きたかったのが1点です。

【経済部長】

スマート農業推進事業についてと、新規就農者の数というところでご質問がございました。スマート農業推進事業につきましては、皆さんのイメージからすると、自動運転のトラクターなどかもしれませんが、ICTを使った農業全般という事でスマート農業という言い方をしております。砂川で言いますと、きゅうりをハウス栽培しておりますが、夏の温度管理が大変という事で、ビニールハウスを巻き上げる作業がありますが、そこを人の手では無く機械の力でやることにより軽労化を図っていき、農業所得につなげていくということで、機器を導入したハウスの数を増やしていこうというものです。今のスマート農業では、既存農家のきゅうりの生産を支援しているという事で、これが直接新規就農者につながるということでは無く、新規就農者については毎年地域おこし協力隊の活用など、就農希望者を砂川へ来てもらうようにしているが、これからも同じような取り組みを続けるが、砂川で農業をやっている子息が、今は都会にいるが、帰ってきて農業をやりたいという場合も新規就農者としてカウントできますし、地域おこし協力隊で農業経験が無いが、砂川で農業をやりたいという人についても、3年間協力隊員として農業知識を習得しながら、卒業後には就農して頂くと、そういったことを目指して、その積み重ねでこの人数になっていければよいという事です。

【久保委員】

ありがとうございます。若い人は結構農業に興味を持っている人がいまして、この取り組みは画期的だと思います。農業はもっとやりやすいというイメージがわかれば、移住定住にもつながるかと思っていますし、ご意見させていただきました。もう1点ですが、10

ページの観光宣伝事業ですが、青年会議所としても発信力を強めたいという事で、なかなか強めるきっかけが無いので、具体的な手法などありましたら、教えて頂ければと思います。よろしくお願いします。

【経済部長】

具体的なと言いますか、今までも観光協会のホームページをリニューアルしたりしながら、発信力を高めてきているというのがありますし、じゃらんなどの雑誌を使いながらや、テレビ局と連携を取りながら、砂川の魅力を発信しているということでございまして、それ以外にも皆さんのフェイスブックなどのSNSの発信力の力も借りながらやっておりますが、それ以外になるとなかなか今のところは妙案は無いところですが、今やっている雑誌、テレビでのPR、観光協会や市のホームページでの情報発信を通して砂川の魅力を発信していくというところです。それ以外の方法がありましたら、それは当然実施していきませんが、今のところがインバウンド協議会が外国人の受け入れをして砂川の魅力を発信していますが、それもSNSを活用しており、そういった方法を今後も続けていながら、やっていきたいと思っています。また、地域ブランド構築事業の中でも、SNSを使って砂川の魅力を発信していくということをまちの皆さん方が取り組んでいますので、そういった発信も支援しながらやっていけたらと思っています。

【委員】

ありがとうございます。砂川青年会議所では、まちづくりを強めていきたい、砂川の名前を知ってもらえることを徹底したいなと思っておりましたので、こちらからも何か協力させていただくことがあればと思います。よろしくお願いします。ありがとうございます。

【委員長】

青年会議所は斬新なアイデアで、ご尽力の程よろしくお願いします。

ほかに何かご質問ございませんか。無いようですが、これが原案の形になって、この通り戦略を進めていこうという事になりますが、このまま進めていくという事で、いわゆる4月からの実施に向けての決定としてよろしいでしょうか。

ー発言なしー

【委員長】

後は事務局の方で、今日出た意見の中で、てにおは含めて取り込むことがあれば、それを加えて頂ければと思います。

4 その他

【委員長】

では今日の議題はこれで終わりですが、4番その他ということで、皆様から何かありま

すか。

ーなしー

【委員長】

事務局から何かありますか。

【事務局】

それでは事務局から、今後のスケジュールについて若干お話しさせていただきたいと思
います。今後のスケジュールについてですが、本日会議の中で頂いたご意見を整理しまし
て、来週22日から3月23日まで、パブリックコメントを実施したいと考えております。
その結果を整理したうえで、内容を固めていきたいと考えております。また、令和3年度
に入りましたら、令和2年度の効果検証も行いたいと考えておりますので、そのときはま
た引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。事務局からは以上です。

【委員長】

本日の協議事項は以上です。これにて、砂川市総合戦略推進委員会を終了します。本日
はお疲れ様でした。

終了